

令和8年度「おかやまDX経営力大賞」

募集要領

令和8年5月1日

「おかやまDX経営力大賞」実行委員会

「おかやまDX経営力大賞」とは

目的

「おかやまDX経営力大賞」は、優れたDX経営を実践し、かつ他の企業がDX経営に取り組む際の参考となるような企業についてその功績を顕彰する「おかやまDX経営力大賞」を実施し、もって県内企業がDXに取り組む意欲の向上及びDXによる地域経済の発展に寄与することを目的とし、岡山県経済6団体などで組織する「おかやまDX経営力大賞」実行委員会の主催により開催します。

※「DX経営」とは、経営環境の変化を洞察し、戦略に基づいたITの利活用による経営変革により、企業の健全で継続的な成長を導く経営手法で、次に例示するような高度なDX技術を活用する経営を指します。

1. デジタル技術の活用

データ分析やAI、クラウド技術などを活用して、業務効率化や新たな価値創造を目指します。

2. 顧客価値の向上

顧客のニーズを深く理解し、それに応じた製品やサービスを提供することで、競争力を強化します。

3. 組織文化の変革

従来の業務プロセスや組織構造を見直し、柔軟で迅速な意思決定が可能な体制を構築します。

4. 競争優位性の確立

デジタル技術を活用して、他社との差別化を図り、持続可能な成長を実現します。

1. 主催・共催・後援

【主催】

「おかやまDX経営力大賞」実行委員会

会 長：岡山県経済団体連絡協議会

座長 中島 基善

副会長：一般社団法人システムエンジニアリング岡山

会長 松田 久

事務局：一般社団法人システムエンジニアリング岡山

【共催】 順不同

岡山県、

岡山県経済団体連絡協議会、(一社)岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、

(一社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、

(公財)岡山県産業振興財団、(特非)ITC岡山、(一社)システムエンジニアリング岡山

表彰の内容

名称	選定数	定義
大賞	1件以内	事業継続・拡大に向けたDX経営を実践し、かつ他の企業等がDX経営に取り組む際の参考となる取組
優秀賞	数件程度	業務プロセスにデジタル技術を組み込み顕著な経営改善を実現し、他の企業等の取組の参考となる優秀な取組
特別賞	数件程度	業務プロセスにデジタル技術を組み込み業務改善など、これから取り組む他の参考となる取組
取組支援賞	数件程度	受賞者を高度な技術により支援し受賞者より推薦のあった企業(ベンダー等)

2. 募集要項

(1) 募集対象

DX経営を実践している、活動主体が岡山県内にある企業・法人、個人事業者、行政、学校、及びそれらによって構成される団体を募集対象とします。

(2) 応募資格

募集対象となる企業等の代表者が応募資格を有するものとします。

(3) 応募方法

応募書類の提出に当たっては、連絡窓口となるご担当者を応募書類に明記してください。代表者の了解があれば、外部の者(DX経営推進支援者)が連絡窓口を代行することも可能です。

(一社)システムエンジニアリング岡山ウェブサイト(<https://seo-okayama.or.jp/>)

『「おokayamaDX経営力大賞」令和8年度』バナーをクリックし、応募方法ボタンから以下の応募書類をダウンロードし、必要事項を記入して応募書類を完成させ、ご提出ください。

○ 応募様式.xlsx

応募様式A:(企業データ)

応募様式B:(実施内容)



応募様式の入手先:<https://seo-okayama.or.jp/contents/display/r8itokayama>

○ ご参考 応募様式B記入例.pdf

※応募資料作成に際しては、必要により事務局にて支援致します。

(4) 応募書類の提出

《提出先》

応募書類は、e-mailにて「おかやまDX経営力大賞」実行委員会事務局宛にご提出ください。

宛先 : seo@optic.or.jp

件名 : 「おかやまDX経営力大賞」の応募

添付資料 : 応募様式.xlsx

応募様式A : (企業データ)

応募様式B : (実施内容)

《募集期間》

応募受付開始 : 令和8年5月 1日(金)

応募書類提出期限 : 令和8年9月15日(火) (必着)

(5) 応募完了

提出していただいた応募書類の到着をもって、完了といたします。

※応募書類の返却はいたしません。機密保持には充分配慮致します。

3. 審査

審査は書類審査とし、学識経験者・有識者・共催先で構成される「おかやまDX経営力大賞」審査委員会において厳正かつ公正に審査いたします。

応募書類に記載されている実施内容等の確認の為、「おかやまDX経営力大賞」審査委員会または事務局が問合せおよび施策確認を行うことがあります。

※審査の経緯や内容は非公開とします。お問い合わせいただいてもお応えできませんので予めご了承ください。

「おかやまDX経営力大賞」審査委員会（順不同、敬称略）

（審査員）

委員長 : 岡山大学 理事・副学長

阿部 匡伸

委員 : 岡山県:産業労働部産業振興課 課長

横田 健二

岡山県:(公財)岡山県産業振興財団 経営支援部 部長

小川 洋子

経済団体:岡山県経済団体連絡協議会 事務局長

神崎 浩二

(一社)岡山経済同友会 ICT・イノベーション委員会 委員長

難波 圭太郎

経済団体:岡山商工会議所 中小企業振興委員会 副委員長

根木 克己

経済団体:岡山県中小企業団体中央会 イノベーション推進課 課長

赤松 茂

専門家:(特非)ITC 岡山 理事長

久保田 浩二

(1) 審査基準

審査は、次の基準に基づき総合的に実施します。

①優れたDX経営の実践度

1)DX経営の実践度

- ア. 取組の背景(自社の特徴や外部環境)
- イ. 課題の設定(経営的課題とデジタル化の課題)
- ウ. 解決策と改善目標
- エ. 事業の持続性
 - ・組織文化の変革
 - ・持続可能な価値の提供
- オ. ステークホルダーとの協力

2)取組の先進性

- ア. デジタル化の取組内容
 - ・業界での先駆的取組
 - ・対策に於けるデジタル技術の先進性
 - ・独創性の有無
- イ. DX化の施策内容
 - ・業務プロセスの改善レベル
 - ・新たなビジネスモデルの創出や価値創造有無
- ウ. DXの取組レベル

②他の企業のDX経営の参考性

1)取組プロセス

- ア. 取組プロセスの妥当性
 - ・要因毎の対策の妥当性
 - ・実施計画と取組期間の妥当性
 - ・課題解決に対する解決目標の妥当性
- イ. 組織の体系化
- ウ. DX人材の育成・活用
- エ. デジタルリテラシーの向上

2)成果の度合い

- ア. 定量的効果
 - ・経営への貢献度(財務的な成果)
 - ・デジタル化の成果(生産性の向上等)
- イ. 定性的効果
 - ・組織全体への好影響や従業員指標の向上
- ウ. 波及効果
 - ・業界への影響度
 - ・地域への貢献度

(2) 審査手順

審査は、次の手順で実施します。

① 書類審査

応募資料を基に選定委員会で厳正かつ公正に審査します。

② 現地調査

提出内容確認のため、現地調査を行うことがあります。

※審査の経緯や内容は非公開とします。お問い合わせにはお答えできない場合もあります。ご了承ください。

(3) 審査に必要な資料請求等

審査にあたって、追加資料の提出、説明及びヒアリング等をお願いする場合があります。

また、応募書類等の記載内容に事実と異なることや他の権利等の侵害があると判明した場合は、発表後であっても授賞を取り消し、または留保することがあります。

4. 公表・表彰等

(1) 公表

選定された「おかやまDX経営力大賞」の各賞の授賞企業・団体には、授賞の旨を直接連絡し、(一社)システムエンジニアリング岡山ウェブサイト (<https://seo-okayama.or.jp/>) の令和8年度「おかやまDX経営力大賞」に掲載します。

(2) 表彰式

令和8年11月26日(木)に、「おかやまDX経営力大賞」の表彰式を行います。

受賞者には、「表彰楯」を授与します。

※大賞及び優秀賞(数件程度)を受賞された企業・団体は、表彰式当日に受賞内容の紹介をお願いいたします。

(3) スケジュール

応募書類提出期間 : 令和8年5月1日(水)～令和8年9月15日(火)

審査会 : 令和8年10月27日(火)

公表 : 令和8年11月上旬

表彰式 : 令和8年11月26日(木)

※表彰式の詳細については、後日、(一社)システムエンジニアリング岡山ウェブサイト (<https://seo-okayama.or.jp/>)の令和8年度「おかやまDX経営力大賞」に公開します。

(4) 問い合わせ

「おかやまDX経営力大賞」実行委員会事務局 ((一社)システムエンジニアリング岡山内)

住所: 〒701-1221 岡山市北区芳賀 5301(テクノサポート岡山 3F) 担当: 木村 豊

電話: 086-286-9653 FAX: 086-286-9674 E-mail: seo@optic.or.jp

以上